

当グループは、在宅サービスを中心に展開していますが、今回は施設サービスのお話をします。

まず、介護が必要になった方が入所する施設には介護保険 3 施設として①特別養護老人ホーム ②老人保健施設 ③療養型医療施設があります。特別養護老人ホームと老人保健施設には原則介護度 3 以上の重度介護者が入所します。メリットとしては、24 時間身体状態に応じ介護が受けられます。費用負担は、個室の場合、月額 15 万程度必要になりますが、所得によっては 10 万以下での入所が可能です。デメリットは、多人数であることに尽きます。食事も大人数で大きな空間で取ります。入浴も週に 2 回程度、流れ作業で行われます。職員の多くが、自分の身内だけは入所させたくないと感じるようです。療養型医療施設は、医療度の高い方が入所する施設ですが、小泉政権下で廃止が決定。しかし民主党政権でどうなるかは不明です。

一方、有料老人ホームには、①介護付 ②住宅型 ③健康型の 3 種類があります。介護付は、介護サービスが介護保険から提供される点が、介護保険 3 施設と同様です。その結果、新しい施設整備にはお金がかかるため、介護保険 3 施設と介護付有料老人ホームは総量規制がかかってしまい、行政からの建設許可が下りません。そのため介護付有料老人ホームは多治見市に 1 施設ありますが、土岐市・瑞浪市には 1 件も許可されていないのが現状です。

そのため、現在有料老人ホームとして建設されている多くの施設は、住宅型有料老人ホームです。住宅型では、施設は住居・食事サービスを提供しますが、介護・医療サービスは外部のサービスを利用する事になります。メリットとしては、サービスが選択できる、個別ケアが受けられる、介護保険 3 施設で受け入れにくい、ガン末期、神経変性疾患、大人になった小児麻痺の患者さんにも対応できる点です。しかし、デメリットとして、料金が高めである点、施設と外部サービスが同一法人の場合不正請求・不正利用の温床になる点です。

ちなみに健康型有料老人ホームは、一人暮らしになった高齢者が健康な時期から生活するものです。当然、部屋や施設もゴージャスであり、ベネッセコーポレーションが運営している施設は 1ヶ月 40 万程度必要ですが、名古屋市には数件あり、いずれも満床です。国民年金の方が多い、東濃地方では、成り立つか疑問です。

ちなみに、国民年金の場合、40 年加入で、年額 80 万円弱です。厚生年金でも過去の報酬に比例しますが、年額 200 から 300 万円の方が多いようです。最近、ある一定の年齢以上の方は誕生日の月に年金宅急便が届けられ、将来の年金額が記載されています。一度、将来設計のため目を通される事をお勧めします。

1) 介護保険 3 施設を記載ください

( ) ( ) ( )

2) 有料老人ホームを 3 種類記載ください

( ) ( ) ( )

3) 介護保険 3 施設で受け入れにくく、住宅型有料老人ホームで受け入れ易い疾患を三つ記載ください？

( ) ( ) ( )

4) 国民年金に 40 年加入した場合の、年金支給額はいくらですか？

( )円/年